

【2024年度 冬季短期集中講座 実施報告】

- ・日時：2024年2月4日（火）①10時～12時 ②13時～15時
2月28日（金）③10時～11時半
- ・開催場所（対面）：工学部8号館88L教室
- ・内容と形式；
 - ①ESの基本（日本語；古市）ハイブリッド
 - ③面接の基本と集団面接（日本語；佐野）対面のみ
 - ④就職活動の全体像（英語；山田）ハイブリッド

< 申込者数と実参加数 >

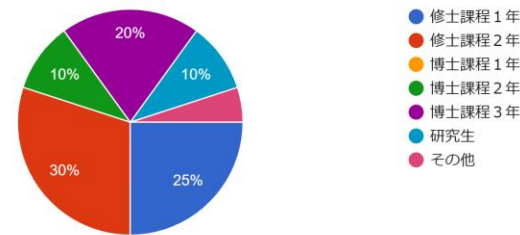
講義	申込者数	参加者数	歩留まり数
①4日10時～ ES基本講座	19 (オンライン12/対面7)	15 (オンライン9/ 対面6)	79%
②4日13時～ 面接実践講 座	11 (対面のみ)	9	82%
③28日 就活基本講 座	101 (オンライン56/ 対面40)	60 オンライン42/ 対面18)	59.4%
計	131	84	64.1%

・日本語講座の参加歩留まりは8割。午前講座を対面で受講した留学生が続けて午後を受講する人が多かった。

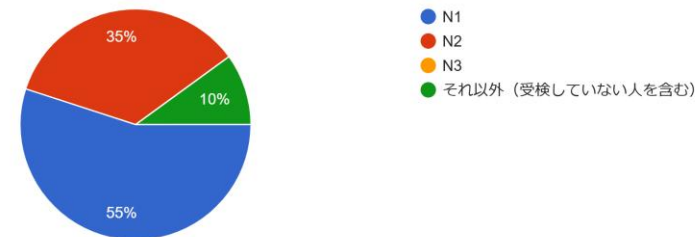
< ①②日本語講座 申込者 >

- ・修士M2（30%）、M1（25%）が中心だが、D3生も2割。すでに就活中の留学生の参加申し込みが多い。
- ・国籍は漢字圏中心。
- ・JLPTのN1取得者が55%。N1、N2の取得者が全体の9割を超える。

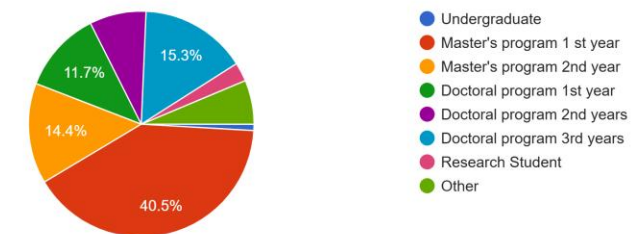
身分
20件の回答



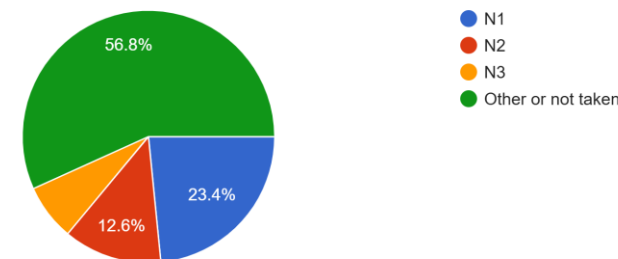
最新の日本語能力試験の取得状況をお知らせください
20件の回答



Student Status
111件の回答



What is the status of your latest JLPT certification?
111件の回答

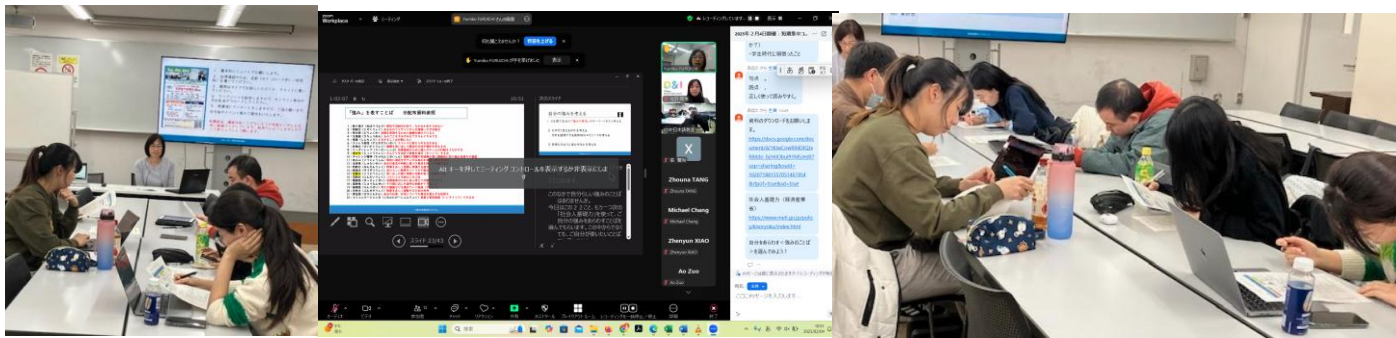


< ③英語講座 申込者 >

- ・JLPTの未受験者が55%を超える。申込者の国籍も幅広い。
- ・M2中心の日本語講座に比べるとM1率が高く40%を超える。
- ・「英語講座だから参加した」を選択した人は全体の約半数。

2月4日 ①ESの基本講座 ②面接講座

- ・ テーマ ; 面接
- PART 1 (午前) 型 (STAR) を使って自己PRを書く
- PART 2 (午後) 面接の基本と集団面接練習

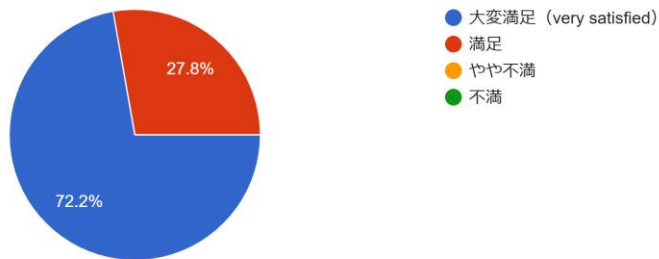


<全体を通しての所感>

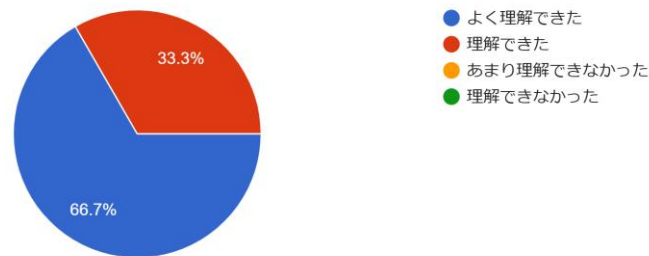
・意識やスキルに多少のばらつきは満たれたが、少人数制だったため、フォローがしやすく、理解度・満足度共に高かった。
日本語講座の受講生の半数が、1回だけの参加で終わらず、継続してES添削や個別面接/フォローアップ面接練習会等に参加している。モチベーションの向上につながったと言える。

<参加者アンケート (N=18) > 回答者のうち午前①参加者50%午後②参加者50%

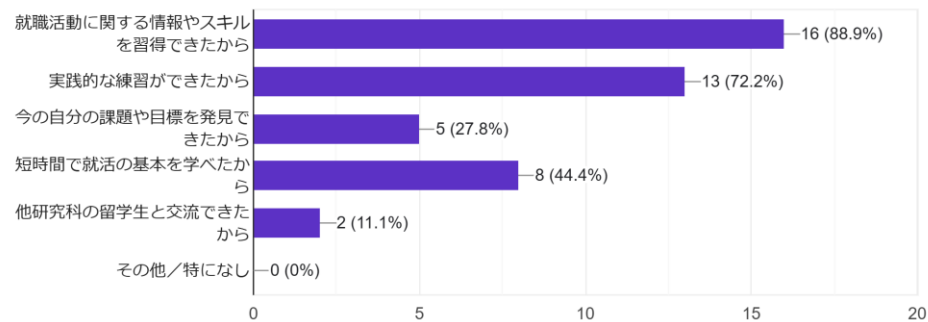
講座の参加満足度
18件の回答



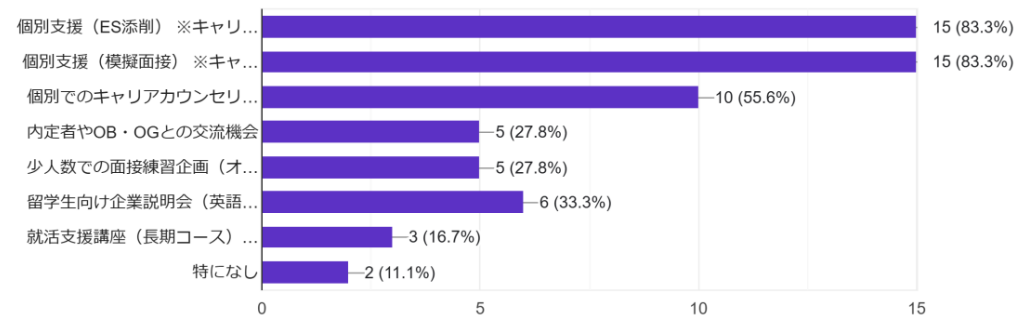
講座内容の理解度
18件の回答



参加してよかったこと (複数選択可)
18件の回答

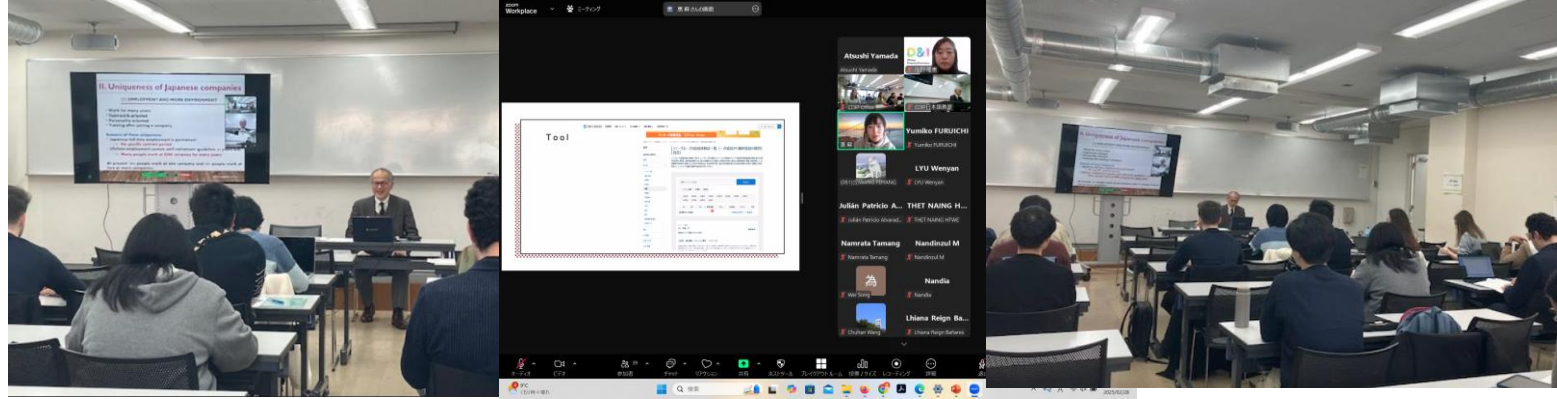


今後の支援として期待するものがあればお知らせ...キャリア相談やイベントのご案内をいたします。
18件の回答



2月28日 ③就活基本講座講座

- ・テーマ；就職活動の全体像
- PART 1 日本企業と就職活動の特徴
- PART 2 就職活動のスケジュール
内定者の講話

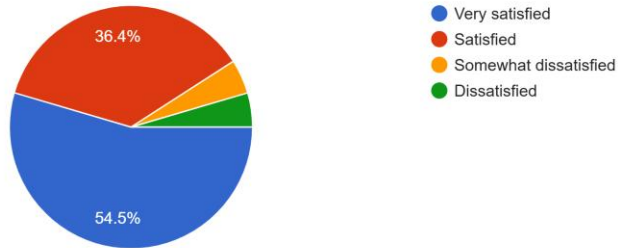


<全体を通しての所感>

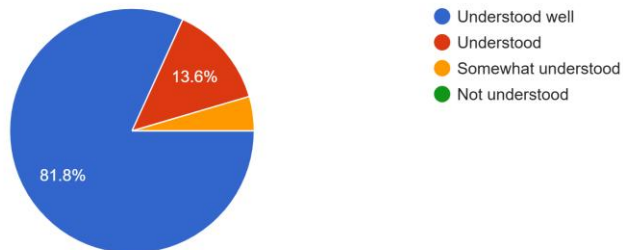
- ・休憩なしの90分のセッションとして企画。受講生は集中して参加、途中退出する人もほとんどいなかった。
- ・対面参加の学生の質問が呼び水となり、後半は特に質問数が多くあがった。オンライン参加の人からもチャットによる質問が多くあがった。講師だけでなく、内定者も受講生の質問に対応してもらった。

<参加者アンケート（N=20）：満足度、理解度、良かった理由>

Satisfaction level?
22 件の回答

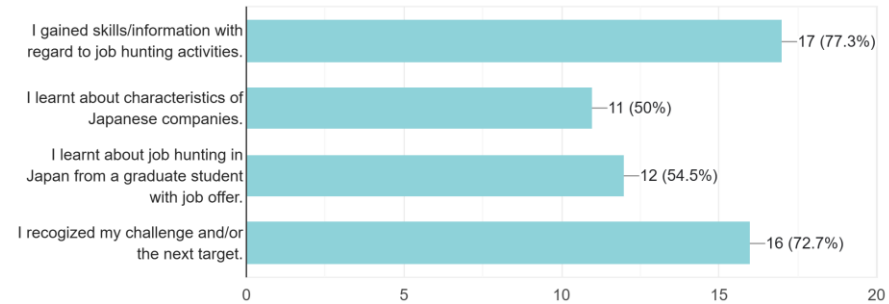


Understanding level
22 件の回答



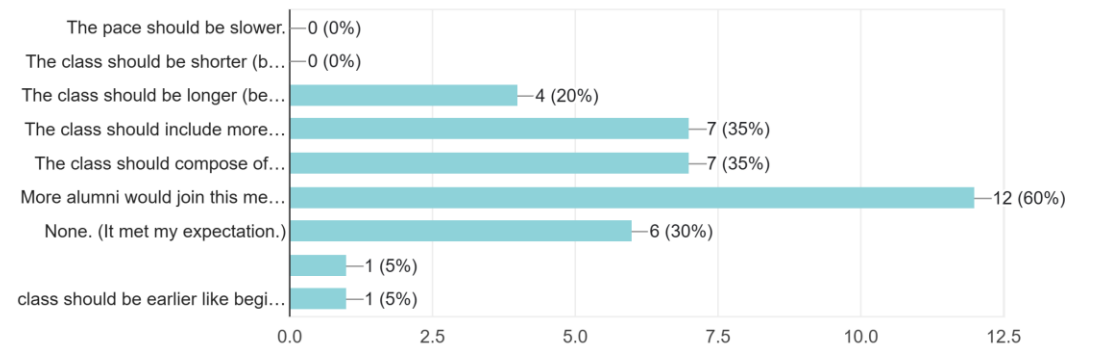
The class was useful because (multiple choice)

22 件の回答



My expectation is that (multiple choice)

20 件の回答



【2024年度冬季短期集中講座 総括】

<周知活動と参加状況>

日本語教室、留学生相談室、本部国際支援課を通じて周知を行った。全体として申込の伸びは緩やかだったが、複数のチャンネルを使用したことで、徐々に申込数が伸びた。開催前日まで増えた。

- ・日本語講座は英語講座と比較すると申込数／参加数ともに少ないが、夏季よりも冬季講座の参加数は増えた。また、受講生の多くは既に就活中の留学生であるため、申込の歩留まりが高く意識も高かった。
- ・英語講座は夏講座に続き、申込み時点で101名と希望者が多く、実参加も60名と多かった。昨年までと比較すると対面参加の受講生が多く、午後の企業セミナー（対面イベント）と組み合わせての参加ニーズを確認できた。

<今後の運営について>

2024年度より日本語教室の新規コースとして日本語中級3（N2相当以上）を対象にしたキャリアブリッジコースが開講。これにより中級レベルへの支援が拡充し、昨年度までの日本語短期集中コースのニーズをある程度カバーできていると考えられる。特に夏期の参加者が少なかったことから、来年度は年間2回（夏期、冬季）開催から、冬季での年1回開催へと変更等を検討したい。

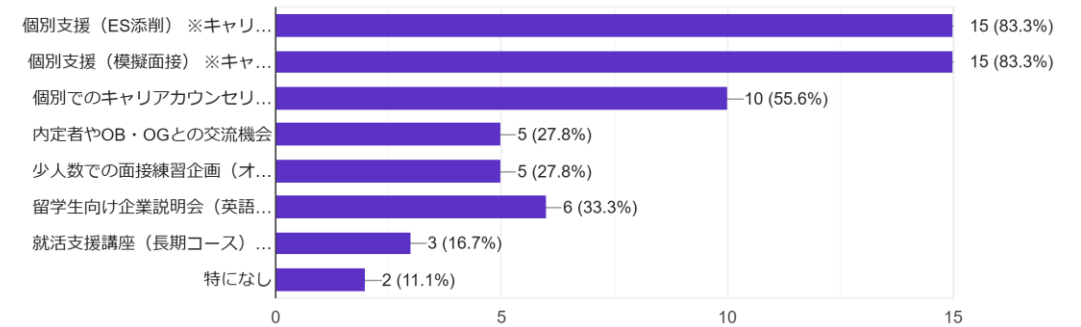
一方英語講座については夏期、冬季ともに申込者も多く、満足度も高かった。開催時期に関係なく、参加見込みが今後も期待できる。

ー2025年度 開催例ー

- ・9月～10月 英語講座「就活の基本」（12月～1月：英語企業セミナー）
- ・2月 日本語講座「ES／面接」
- ・受講者が希望する今後の支援やフォローとして「個別支援」のニーズが高い。短期集中講座で終了するのではなく、その後の継続支援に引き続き力を入れたい。

①②ES／面接講座（日本語）受講者

今後の支援として期待するものがあればお知らせ...キャリア相談やイベントのご案内をいたします。
18件の回答



③就活の基本（英語講座）受講者からの所感／今後の要望等

<参加者の声や今後の要望>

- ・もっと他の内定者の話も聞きたい。具体的なツールやサイトの紹介が良かった。
- ・就業経験のある人向けのセッションがほしい。
- ・セッションにはとても満足しました。ただ、金融やコンサルティングなど、さまざまな業界の中国人先輩がもっといると嬉しいです。
- ・英語を話せる企業がもっと合同会社説明会を開催してくれたらいいと思います。また、エントリーシートの書き方や面接対策に関する英語の授業がもっとあればいいのと思います。
- ・将来のキャリアに関して、他にどのような支援が受けられるのか気になります。
- ・文系の学生向けの情報をもっと知りたいです。
- ・海外の就職機会への応募方法についても知りたいです。
- ・英語でOKの会社やインターンを探しています。
- ・大学の中での就職支援を通じて就活に関する情報を収集したり、友人を作ったりしていきたい。